

施設理念『キリストの愛を原点に全人的ケアを目指します』



社会福祉法人 救世軍社会事業団 ブース記念老人保健施設グレイス

グレイス新聞

【2024年度 冬号 2025/2/15】

グレイスの2025年

事務長 黒木 成人

新しい年を迎え、本年もよろしくお願い致します。
グレイスは今年の10月で30周年、ケアマネジメント
センター和田、訪問介護ルツ・ナオミは25周年になります。
先達たちの想いから事業を開始し、現在に至っています。
30年前とは変わっている福祉用具、設備等がありますが、
少しずつ最新の内容にメンテナンスしていければと思います。



介護の現場はどこも人員不足と言われ、我々の職場も例外ではありません。ICT機器、AIの導入も今後予測されますが、看護、介護、リハビリ、相談員、管理栄養士、ケアマネ、事務等はどうしても対面で人に関わる仕事ですから、ICT機器やAIがその代わりを100%できる訳ではありません。人の手が変わらず大切であることは言うまでもありません。

2025年は団塊の世代が全て後期高齢者になるという年で、この業界では「2025年問題」と言われてきました。ついにその年が来たのだと私は感じています。

利用して下さる高齢者の方々は多くいらっしゃいますが、私たちのサービスを利用して下さるかどうかは別の話です。「グレイスで良かった」「また来たいです」という声を聞くために我々は何をしなければならないのでしょうか？

職員一人一人がその事をよく考えて欲しいと思います。多くの方々が私たちの働きに期待をしています。その声に答えられる働きを今年も進めて行きたいと思いますので、ご協力をお願い致します。

我々の働きを支えて下さっている多くの方々に心から感謝申し上げます。
今後ともご指導、ご鞭撻をお願い致します。

2025年 救世軍の標語「信仰の遺産の上に築く」

『あなたにゆだねられている良いものを、わたしたちの内に住まわれる聖霊によって
守りなさい。』

テモテへの手紙二 1章 14節

感染症発生時の BCP 訓練を実施しました！

BCP 訓練って何？

事業継続計画の略で、施設が緊急事態に備えて策定する計画です。

2024 年 11 月 26 日に感染症発生時の BCP 訓練（BCP:事業継続計画）を実施しました。高齢施設では日頃から BCP 訓練を行う事が義務化されています。職員 44 名が参加し、感染症のクラスターが発生した際の初動体制の確認、各部門の応援部隊の指揮や、業務内容について確認を行いました。繰り返し訓練を行う事で実際、クラスターが発生した際も、発生から終息までの期間が短縮できています。新型コロナウイルスが第 5 類になっても、ウイルスは完全になくなったわけではありません。正しい知識でウイルスと共存し日常生活を送ることが大切です。まずは持ち込まない、持ち出さないを徹底し一人一人が感染症に対する意識を高め、ご利用される皆様が安心して生活できる環境作りに努めていきたいと思います。



発行者：社会福祉法人 救世軍社会事業団 ブース記念老人保健施設グレイス
発行人：高木 道人 編集責任：黒木 成人
電話：03-3380-1248 HP アドレス：<https://grace@salvationarmy.or.jp/>